



特定小電力トランシーバー

HX808D

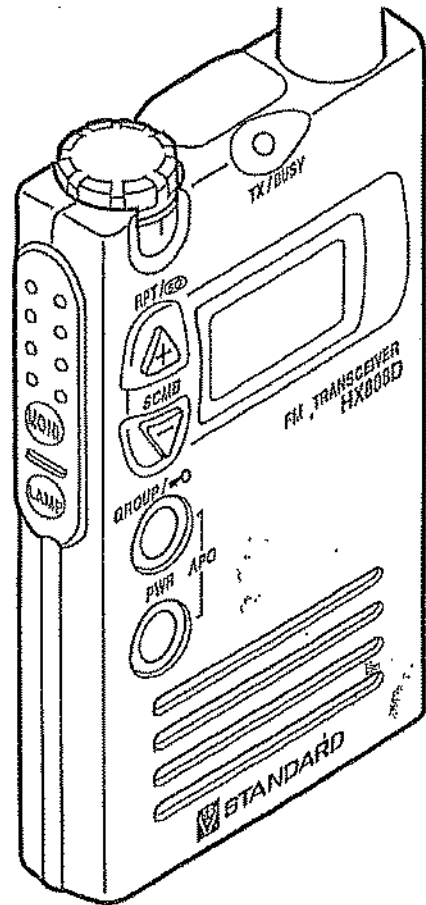
20ch対応

HX808

取扱説明書

このたびは、400MHz帯特定小電力トランシーバーHX808Dをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この製品につきまして、万一ご不審な点がありましたら、なるべくお早めにお買い上げいただいた販売店あるいは(株)スタンダード各営業所、サービスセンターへお申し付けください。



日本マランツ株式会社

目次

はじめに	3
お確かめください	4
ご使用上の注意について	5
特長	7
まず、使ってみましょう	8
まず、使ってみましょう	9
使い方の基本を知ろう	11
各部の名前をおぼえてください	12
電池について	13
付属品の取り付けかた	16
電源を入れるには	17
音量を調節するには	18
チャンネルを合わせるには	19
通話（送信／受信）するには	20
チャンネルを拡張するには（HX808D機能）	21
もっと自由にあつかうために	22
他のグループの通話をカットしたいとき	23
【グループ機能】	
もっと広い範囲で通話したいとき	24
【中継機能】	

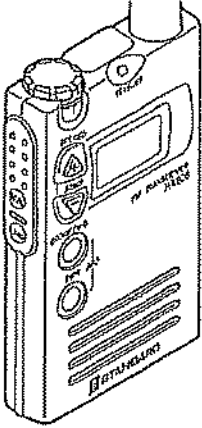
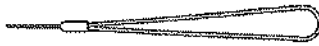
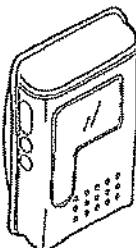

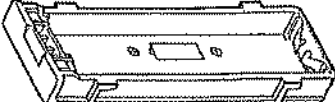
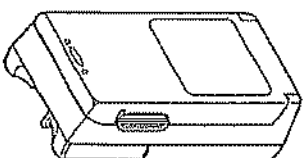
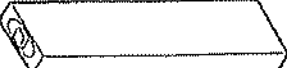



こんなときには	26
仲間のチャンネルがわからないとき	27
【スキャン機能】	
電波が弱くて音が途切れるとき	28
【モニター機能】	
暗いところで操作したいとき	29
【バックライト機能】	
通話を他人に聞かれないとき	30
【秘話機能】	
誤操作を防ぎたいとき	31
【キーロック機能】	
電源の切り忘れを防ぎたいとき	32
【オートパワーオフ (APO) 機能】	
買ったときの状態に戻したいとき	33
【リセット機能】	
ご参考に	34
故障とお考えになる前に	35
オプションの紹介	36
定 格	37
保証・アフターサービスについて	38

はじめに

お確かめください	4
ご使用上の注意について	5
特 長	7

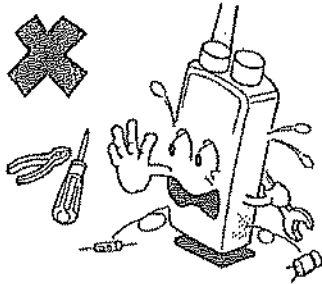
お確かめください

箱を開けましたら、次のものが揃っているかをご確認ください。

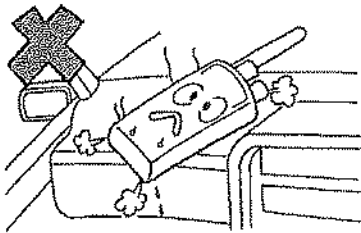
<p>本体</p> 	<p>ハンドストラップ</p> 	
	<p>ソフトケース</p> 	
<p>乾電池ケース</p> 	<p>ニッカド電池ケース</p> 	
<p>ニッカド充電器</p> 	<p>ニッカド電池</p> 	
<p>取扱説明書</p> 	<p>保証書</p> 	<p>営業所一覧</p> 

ご使用上の注意について

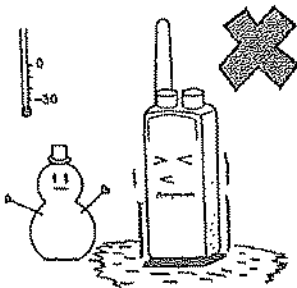
- 本機の分解・改造およびアンテナの付け替えなどは、電波法で禁止されています。絶対に行わないでください。改造した機器を使用した場合は、電波法により罰せられますので、ご注意ください。



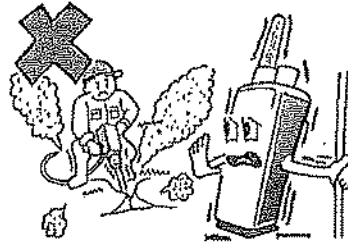
- 車のダッシュボードの上など、高温になる場所には放置しないでください。



- 保冷庫の中など、低温の場所では使用しないでください。



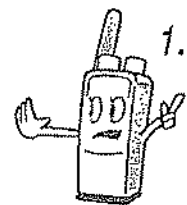
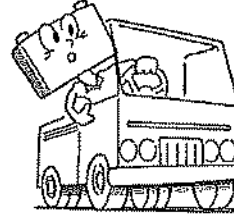
- 振動やホコリの多い場所では使用しないでください。



- 本機の電源電圧は1.2~1.5Vです。これ以上の電圧を加えると、故障の原因になります。



12V/24V

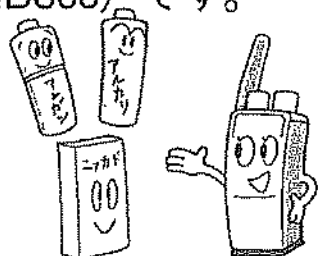


1.2V ~ 1.5V

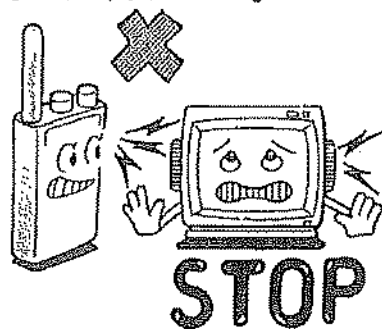
- アンテナを握って本機を持ち歩かないでください。故障の原因となります。



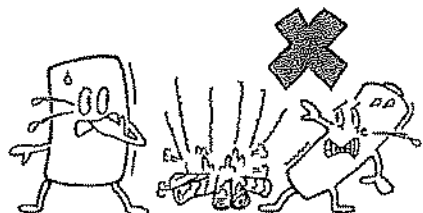
- 使用できる電池は、単三形のマンガン、アルカリ乾電池および付属のニッカド電池（CNB808）です。



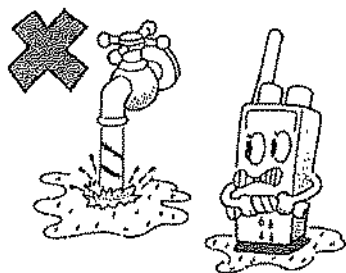
- テレビ、ラジオ、その他の公共通信などに雑音が入ったり、混信が生じたときは、本機の使用をおやめください。また、放送局や無線局の近くでは、混信したり、音声途切れる恐れがあります。注意して使用してください。



- 使い終わった電池は、絶対に火の中などへ入れないでください。電池が破裂することがあり、大変危険です。



- 本機は日常生活における防水構造（JIS防まつ型）になっています。しかし、本機を水の中に入れたり、水道やシャワーなどの流水を直接かけることは絶対にしないでください。なお、水滴が付いたときは、乾いた布で充分に拭き取ってください。



- 本機は、電波法第4条「技術基準適合証明を受けた無線局」です。本機の背面に貼られている、証明ラベルは絶対にはがさないでください。証明ラベルをはがすと、技術基準適合機としての効力を失い、使用できなくなります。
- 電池と本機の端子は、いつもきれいな状態でご使用ください。端子が汚れているときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。端子が汚れていると、電池の使用時間が著しく短くなったり、誤動作の原因となります。

特 長

- 免許・申請手続きは一切不要
本機は、総務省の技術基準に適合した、特定小電力トランシーバーです。
お買い上げいただいたその日から、すぐにお使いになれます。
- 超薄型・超軽量のコンパクトボディを実現
わずか15mmという今までにない超薄型を実現。また、55mm×94.5mm
と、まさにカードサイズ。軽さも110gと超軽量で、胸のポケットに入れて
も邪魔になりません。
- 業界初、電池1本で動作
本格的トランシーバーながら、電池1本での動作を可能にしました。
- ニッカド電池、充電器、ソフトケースを付属しています。
- 電池を長持ちさせる便利な機能を搭載
電池を長持ちさせるバッテリーセーブ機能や、電源の切り忘れを防ぐオート
パワーオフ機能を搭載しています。（※バッテリーセーブ機能は、解除できません。）
- 静かに待ち受けできるグループ機能と、秘話機能を標準装備
スキー場などの混雑した場所でも静かに待ち受けできるグループ機能を装
備。また、秘話機能により通話を他人に聞かれるのを防ぐことができます。
- 従来の9チャンネルに加え、業務用11チャンネル、中継モード用の9チャ
ネル、業務中継モード用の18チャンネルを装備。
従来の9チャンネルと中継モード用の9チャンネル、またチャンネルを拡張するこ
とで、業務用11チャンネル、業務用中継モード用の18チャンネルの合計47チャ
ネルとなります。オプションの中継局(RP82U,RP84U,RP808)を使用する
ことにより、通話範囲を拡大できます。
- アウトドアでも安心の日常生活防水設計
JIS防護等級4種防まつ形をクリア。多少の雨や雪の中でも使用できます。
- 暗い場所でも液晶表示が見える、新タイプの夜光塗料を採用
太陽光や照明を約10分間吸収することで、表示部を約30分光らせます。
- 見通しの良い場所なら、1km以上の通話が可能
通話範囲は、周囲の建物や地形などの状況により異なりますが、スキー場や
浜辺などの見通しの良い場所で約1～2km、市街地で約300～500mです。

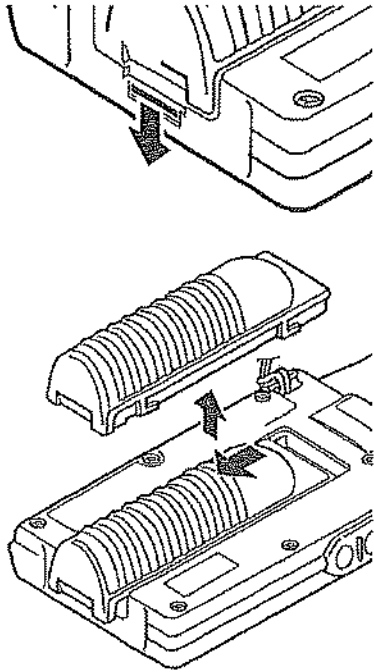
まず、使ってみましょう

まず、使ってみましょう 9

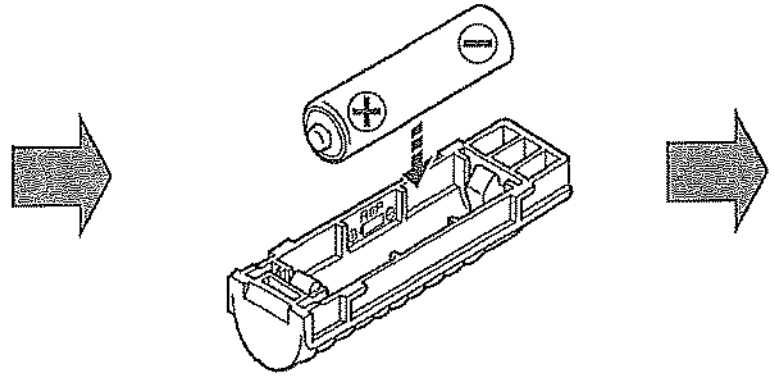
まず、使ってみましょう

まず、使ってみましょう

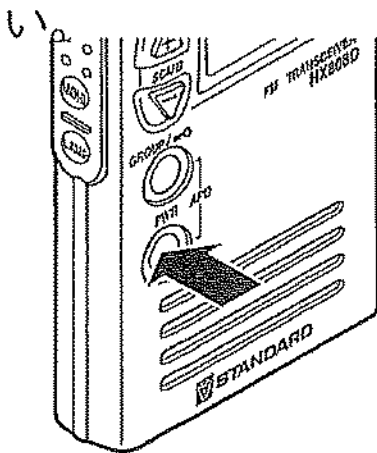
① 電池ケースを外します。



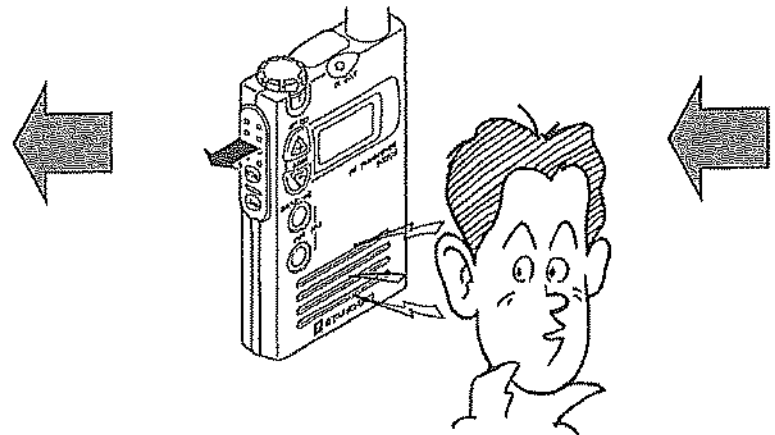
② 電池ケースに電池を入れ、本体に装着します。



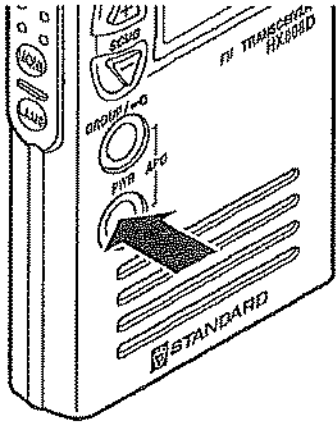
⑧ 通話が終わりましたら、電源キー (PWR) を押して、電源を切ってください



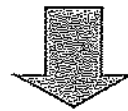
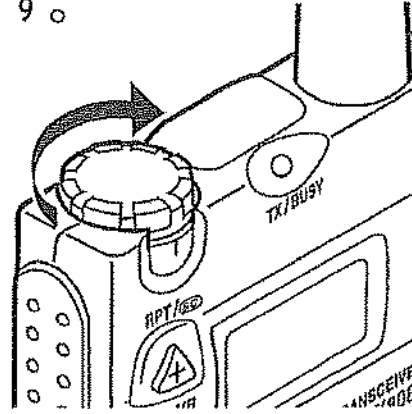
⑦ 送信スイッチ (PTT) を離します。相手が送信すると、声が聞こえます。



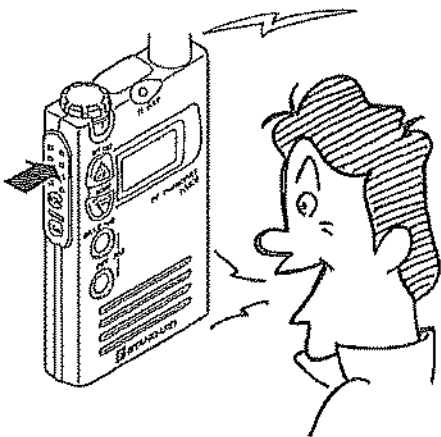
- ③ 電源キー（PWR）を押して、電源を入れます。



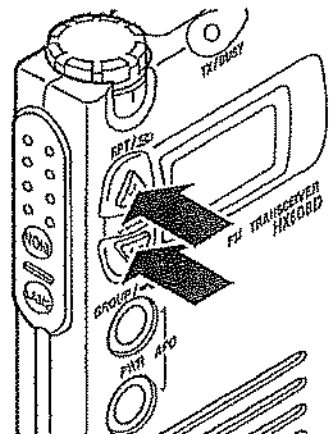
- ④ 音量つまみを回し、「4」の位置に合わせます。



- ⑥ 送信スイッチ（PTT）を押しながら、マイクに向かって話します。



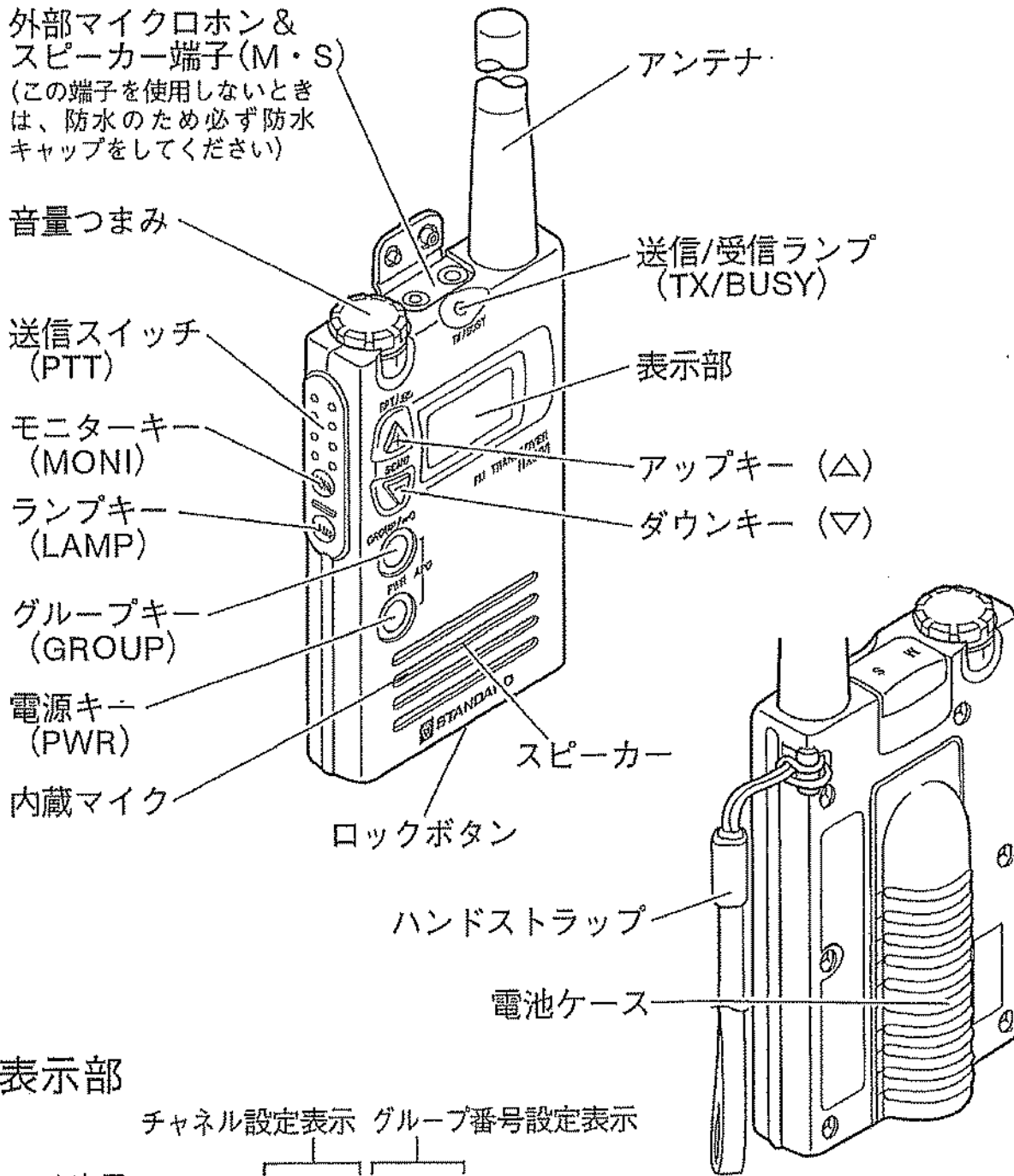
- ⑤ 相手とチャネルを合わせます。



使い方の基本を知ろう

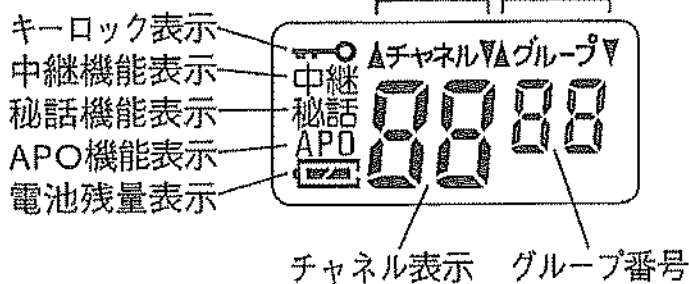
各部の名前をおぼえてください.....	12
電池について	13
電源を入れるには	17
音量を調節するには	18
チャンネルを合わせるには	19
通話（送信／受信）するには	20
付属品の取り付けかた	21

各部の名前をおぼえてください



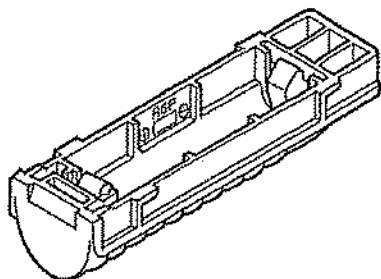
● 表示部

チャンネル設定表示 グループ番号設定表示

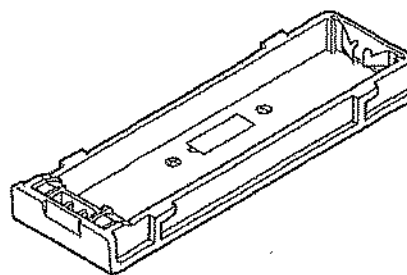


電池について

付属の電池ケースには、乾電池用とニッカド電池用の2種類があります。



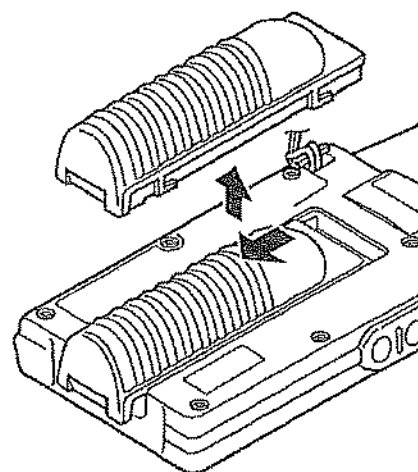
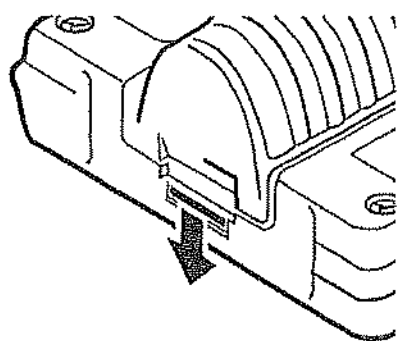
乾電池ケース



ニッカド電池ケース

● 電池ケースの取り外しかた

- ① ロックボタンに指をかけながら、押し下げます。
- ② 電池ケースを下へスライドした後、図のように本体から取り外します。

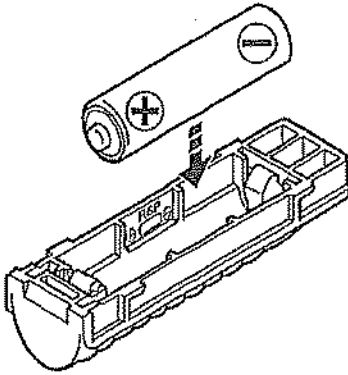


📌 アドバイス

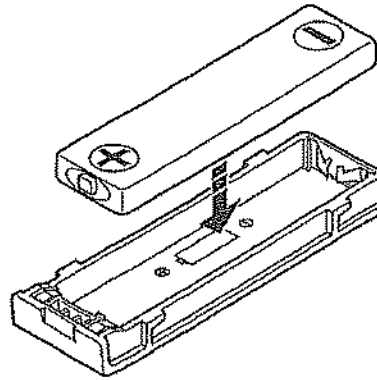
- ◇ 電池ケースには、市販の単3形マンガン乾電池およびアルカリ乾電池を入れてお使いください。

● 電池の入れかた

電池の向きを、電池ケース内に表示されているプラス (+) / マイナス (-) と合わせ、電池ケースに入れます。



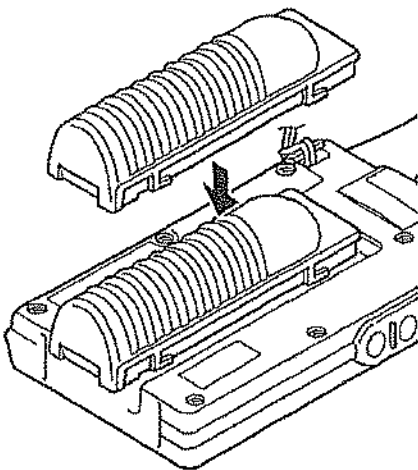
乾電池の場合



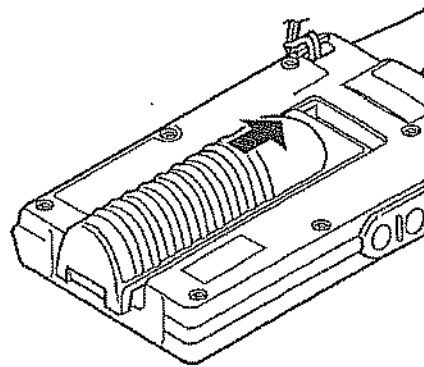
ニッカド電池の場合

● 電池ケースの取り付けかた

① 電池ケースを図のように本体の溝に合わせて入れます。



② 電池ケースを上の方へ、「カチッ」と音がするまで押し上げます。

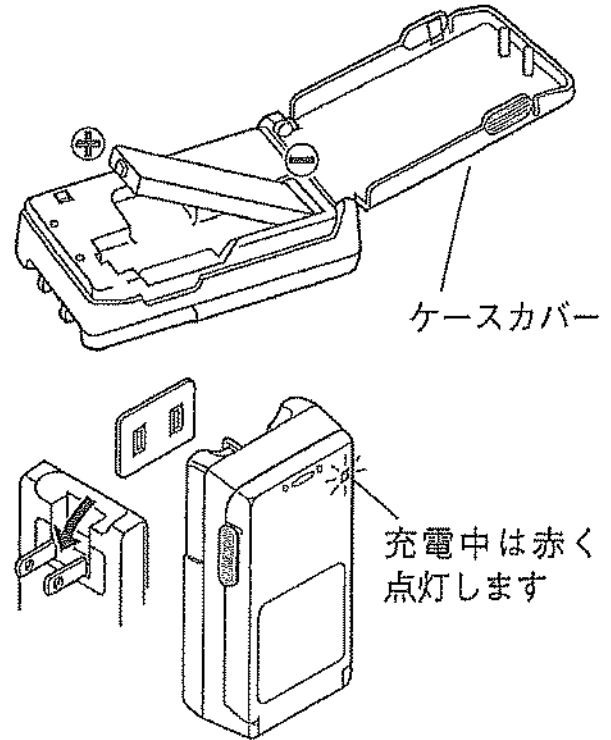


■ ご注意

◇ 電源を切っても、電池は少しずつ消耗します。1週間以上ご使用にならないときは、本機より電池を取り外してください。

● ニッケド電池の充電方法

- ① ニッケド電池を図のように充電器に入れ、ケースカバーを閉じます。
- ② 充電器のプラグをコンセント（AC100V）に差し込みます。充電器のランプが赤く点灯し、充電を開始します。
- ③ 充電時間は、電池を使い切った状態から充電して約25分です。充電が終わると、ランプが消灯します。充電が終わりましたら、充電器より電池を取り出してください。



■ ご注意

- ◇ 充電中はケースカバーを開けないでください。開けると充電が停止してしまいます。これは、充電器のケースカバーが電源スイッチになっているためです。
- ◇ 充電器のランプが消えたら、24時間以内に電池を取り出してください。ランプが消えた後も、微弱な充電が行われているため、長時間の充電は電池の性能を低下させる恐れがあります。
- ◇ ニッケド電池を初めてご使用になるときや、長期間ご使用にならなかった場合は、必ず充電してからご使用ください。
- ◇ 充電中、充電器や電池が暖かくなることがありますが、異常ではありません。
- ◇ 充電器およびニッケド電池は、必ず付属のものをご使用ください。他の充電器や電池を使用すると、故障や事故の原因となりますので、絶対におやめください。
- ◇ 充電器を使用しないときは、コンセントから抜いてください。
- ◇ テレビやラジオなどの近くで充電器を使用すると、雑音が入ることがあります。その場合には、離してご使用ください。

- ◇ 充電器を分解しないでください。
- ◇ 充電器の内部に金属片や針金を入れたりしないでください。故障や事故の原因となります。
- ◇ 充電端子は、絶対にショートさせないでください。故障の原因となります。
- ◇ この充電器は国内専用（AC100V 50/60Hz）です。外国では使用できません。



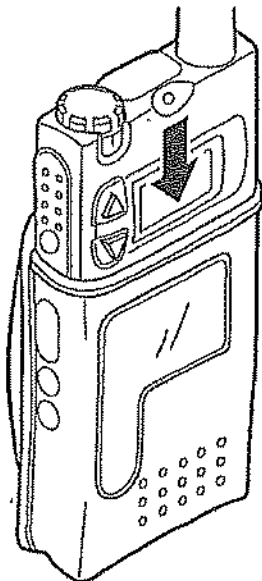
Ni-Cd

希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になったニッカド電池は廃棄せず、ニッカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

付属品の取り付けかた

● ソフトケースの取り付けかた

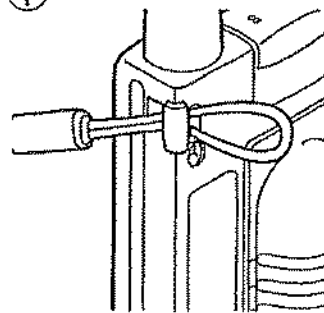
図のようにソフトケースに入れてください。



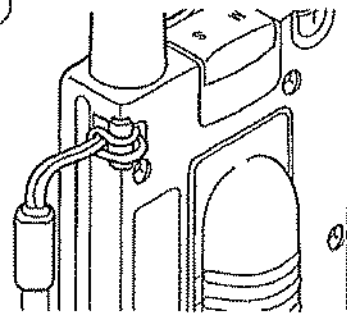
● ハンドストラップの取り付けかた

図のようにハンドストラップを取り付けます。

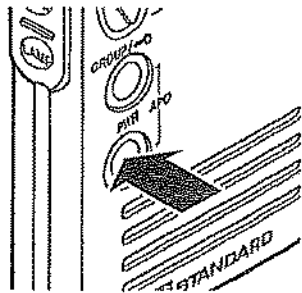
①



②



電源を入れるには



① PWRキーを押します。




② 「ププッ」と音がして電源が入り、表示部にチャンネルなどが表示されます。


③ 電源を切るには、0.5秒以上PWRキーを押してください。

アドバイス

◇ 電池残量表示機能



表示部の左下にある表示が、電池残量表示です。
電池交換の目安としてご利用ください。

 半分以上残っています。

 半分以下ですが、まだ使えます。



ほとんどありません。「ピピッ」と報知音が鳴ります。お早めに電池を交換してください。また、この場合、PWRキー以外の操作ができなくなります。

待ち受け中に  でも、受信すると「ピピッ」と音がして、 が点滅することがあります。この場合も電池が消費しているので、お早めに電池を交換してください。

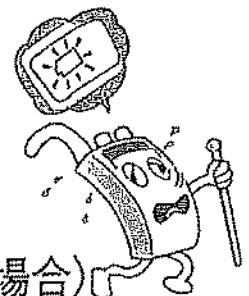
◇ 電池交換の目安

マンガン乾電池 約8時間

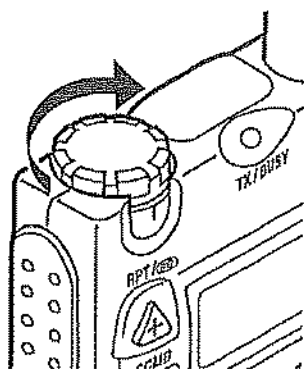
アルカリ乾電池 約30時間

ニッカド電池 約8時間

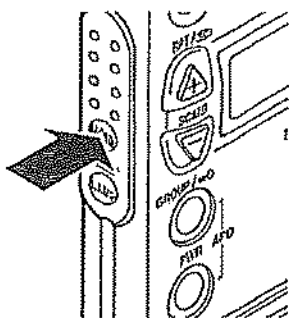
(送信：受信：待ち受け 各状態の比率が1：1：8の場合)



音量を調節するには



① 音量つまみを時計方向に半分くらい回します。



② 通話が聞こえるときは、その音声を使って音量を調節してください。

通話が聞こえないときは、MONIキーを1回押します。「ザー」という音が聞こえるので、この音を使って音量を調節してください。

調節が終わりでしたら、もう1度MONIキーを押してください。

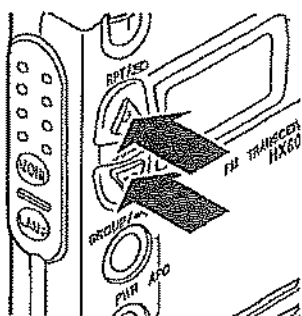
📌 ご注意

◇ ヘッドセットやイヤホンなどを使う場合は、音量を下げてからご使用ください。音量が大きすぎ、耳を痛める恐れがあります。

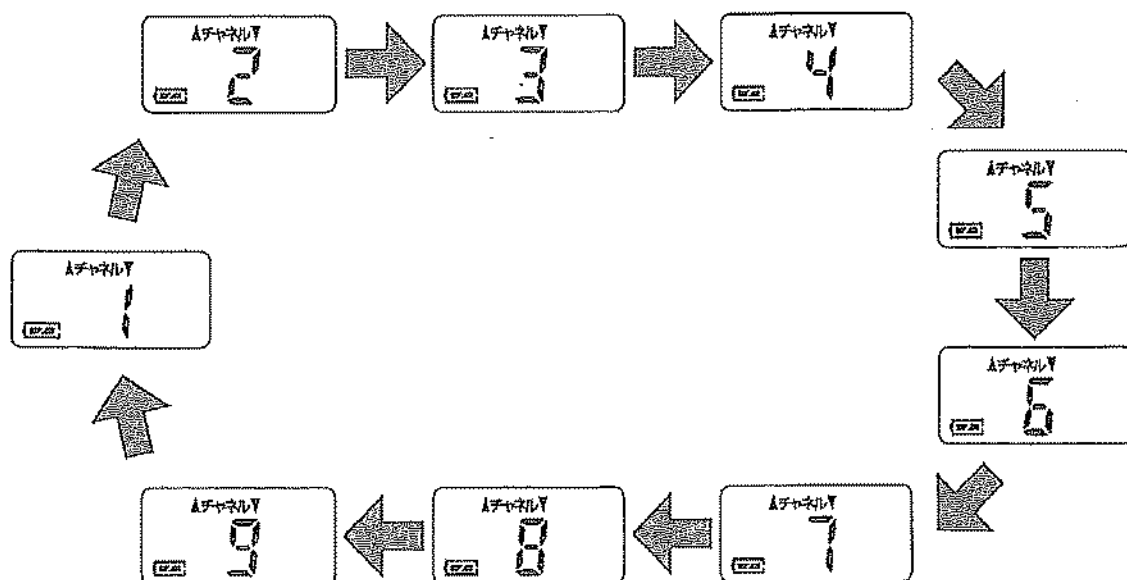
📌 アドバイス

◇ 音量を小さめにして使用すると、電池が長持ちします。

チャンネルを合わせるには




- ① △/▽キーを押すごとに、チャンネルが変わります。
- ② 使われていないチャンネルを探します。
- ③ 相手のトランシーバーのチャンネルを同じ番号に合わせます。



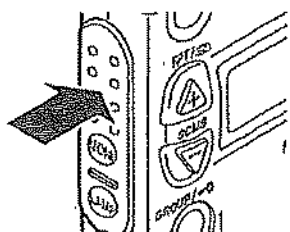
△キーを押すごとに、図のようにチャンネルが変わります。
▽キーを押すごとに、矢印とは逆の方向にチャンネルが変わります。

アドバイス

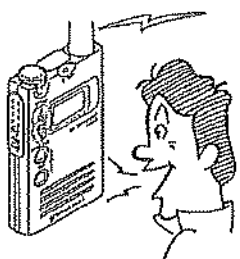
- ◇ △/▽キーを押し続けると、連続してチャンネルが変わります。
- ◇ 通話する相手とチャンネルが一致していないと、通話できません。
- ◇ 表示部に「」が表示されているときは、キーロック機能が設定されているため、チャンネルなどの変更はできません。

【キーロック機能】 ……31ページ

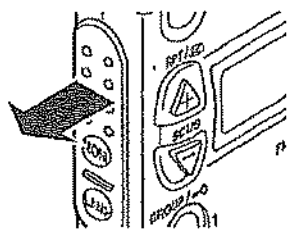
通話（送信／受信）するには



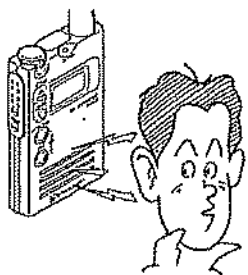
① PTTスイッチを押します。



② TX/BUSYランプが赤色に点灯し、送信状態になります。
マイクに向かって話してください。



③ 話し終わったら、PTTスイッチを離してください。
TX/BUSYランプが消灯し、受信状態になります。

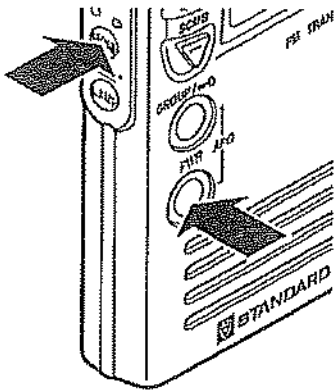


④ 受信すると、TX/BUSYランプが緑色に点灯し、スピーカーから相手の声が聞こえます。

■ ご注意

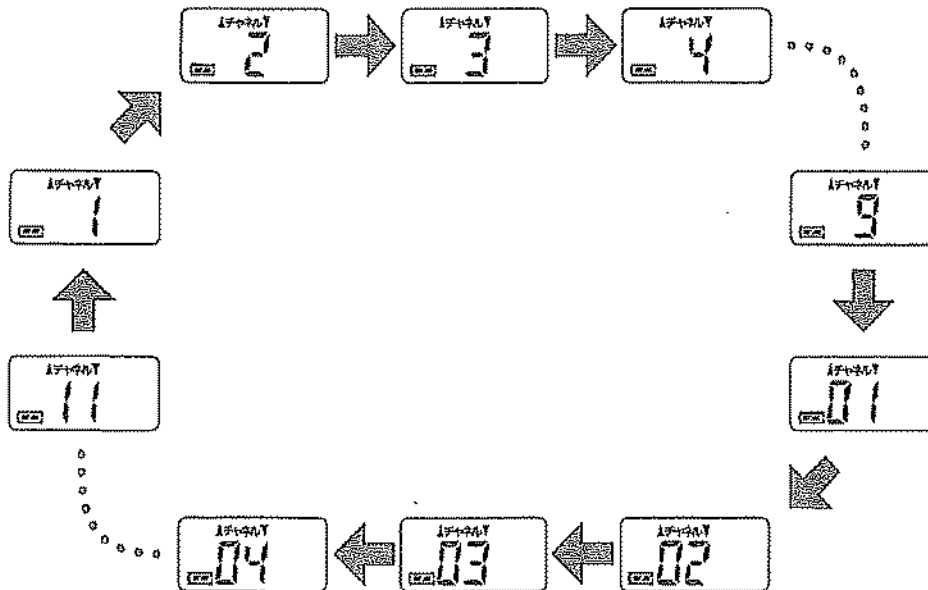
- ◇ 通話時間は、最初の送信を行ってから1回最大3分間です。通話時間終了の10秒前に「ポポッ」と予告音が鳴ります。
- ◇ 通話時間が3分になった場合は、「ピピッピピッピッ」と警告音が鳴り、自動的に終話となります。この後、2秒間は送信を行えません。
- ◇ PTTスイッチを押しても、「プーップーッ」と警告音が鳴り、送信できないことがあります。これは既に他の人が同じチャンネルで送信しているためです。他局の通話が終了してから、PTTスイッチを押してください。

チャンネルを拡張するには (HX808D機能)



- ① MONIキーを押しながら、PWRキーを押します。
- ② 「ピピピッ」と音がして電源が入り、表示部にチャンネルなどが表示されます。
- ③ チャンネルの拡張をやめるには、一度電源を切った後で、手順①を行ってください。

「プププッ」と音がして電源が入り、元の状態に戻ります。



△キーを押すごとに、図のようにチャンネルが変わります。

▽キーを押すごとに、矢印とは逆の方向にチャンネルが変わります。

(表示される1から9が従来のチャンネルです。チャンネルを拡張することで01から11の業務用チャンネルが使用できるようになります。)

中継機能を設定している場合は、1～9チャンネル、01から18チャンネルとなります。また、表示部に「中継」が表示されます。)

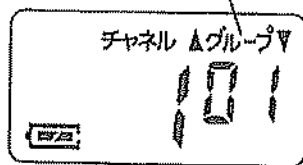
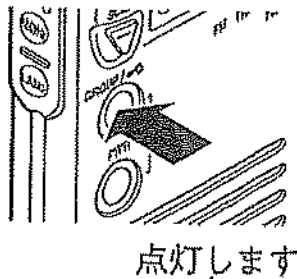
もっと自由にあつかうために

- 他のグループの通話をカットしたいとき 23
【グループ機能】
- もっと広い範囲で通話したいとき 24
【中継機能】

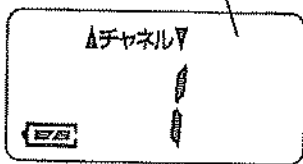
他のグループの通話をカットしたいとき

【グループ機能】

他のグループの通話を聞こえなくすることができます。



消灯します



- ① △/▽キーで、チャンネルを相手と合わせます。
- ② GROUPキーを押します。
- ③ 表示部に「▲グループ▼」が表示され、グループ機能が設定されます。
- ④ △/▽キーで、グループ番号を通話したい相手と同じ番号に合わせます。
- ⑤ グループ機能を解除するには、もう1度GROUPキーを押してください。表示部から「▲グループ▼」が消えます。

■ ご注意

- ◇ 同じチャンネルを使用している、グループ通話にしていない人や、グループ機能が無い人へも、通話は聞こえています。
- ◇ PTTスイッチを押しても、「プーッーッ」と警告音が鳴り、送信できないことがあります。これは既に他の人が同じチャンネルで送信しているためです。TX/BUSYランプが消灯してから送信してください。

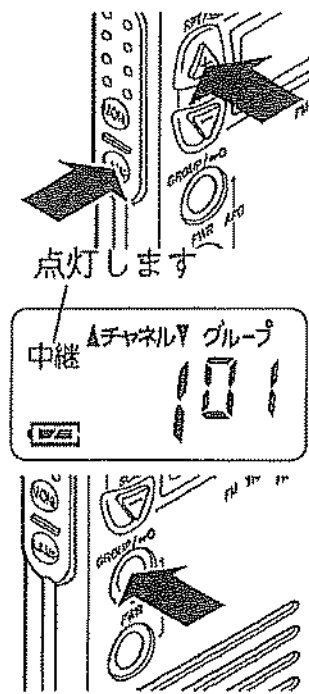
■ アドバイス

- ◇ △/▽キーを押し続けると、連続してグループ番号が変わります。
- ◇ グループ番号は、01～38の38通りが設定できます。
- ◇ 表示部に「▲グループ▼」が表示されていないときは、グループ機能は動作しません。
- ◇ グループ機能が設定されていると、チャンネルの変更ができません。変更する場合は、グループ機能をいったん解除してください。

もっと広い範囲で通話したいとき

【中継機能】

オプションの中継局を使用すると、通話範囲を広げることができます。



① LAMPキーを押しながら、△キーを押します。

② 表示部に「中継」が表示され、中継機能が設定されます。

③ △/▽キーで、使用する中継局のチャンネルに合わせます。

(1から9が従来の中継用チャンネルです。チャンネルを拡張することで、業務用中継の01から18チャンネルが使えます。)

④ GROUPキーを押して、表示部に「▲グループ▼」を表示させます。


⑤ △/▽キーで、本機のグループ番号を、中継局に設定されているグループ番号と同じに合わせます。

⑥ 中継機能を解除するには、もう1度LAMPキーを押しながら△キーを押してください。表示部から「中継」が消えます。

解除後は中継機能を設定する前のチャンネル、グループ番号になります。

📞 アドバイス

◇ 中継局を使用した通話方法、および中継局の操作方法については、中継局付属の取扱説明書をご参照ください。

 ご注意

- ◇ 中継機能は、オプションの中継局（RP808, PR82U, RP84U）を設置しないと運用できません。
- ◇ 本機と中継局のチャンネルおよびグループ番号を、同じ設定にしないと通話できません。
- ◇ 本機のチャンネルおよびグループ番号を変更する場合は、中継局側も変更する必要があります。変更の方法は、中継局付属の取扱説明書をご参照ください。
- ◇ 本機から中継局のチャンネルおよびグループ番号を変更することができます。詳しくは、中継局の取扱説明書を参照ください。
- ◇ 連続して通話できる時間は、中継局を起動してから最大3分間です。3分間を経過すると、中継局が「ピピッピピッピッ」と報知音を送信し、自動的に通話を終了させます。この後、2秒間は送信を行えません。
- ◇ 通話時間終了の10秒前に、本機から「ポポッ」と予告音が鳴ります。すみやかに通話を終了させてください。
- ◇ 送信して相手の応答がない場合、中継局が自動的に送信を約2秒間隔で3回行います。したがって、この動作により通話回線を8秒間保持します。他局のために、通話のやりとりはできるだけ迅速に行ってください。

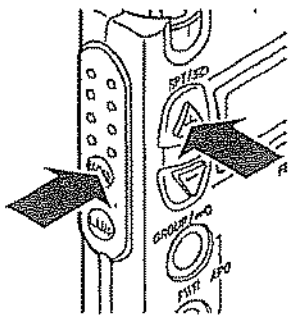
こんなときには

仲間のチャンネルがわからないとき	27
【スキャン機能】	
電波が弱くて音が途切れるとき	28
【モニター機能】	
暗いところで操作したいとき	29
【バックライト機能】	
通話を他人に聞かれたくないとき	30
【秘話機能】	
誤操作を防ぎたいとき	31
【キーロック機能】	
電源の切り忘れを防ぎたいとき	32
【オートパワーオフ (APO) 機能】	
買ったときの状態に戻したいとき	33
【リセット機能】	

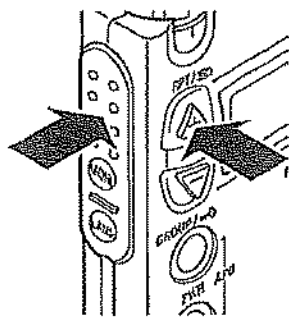
仲間のチャンネルがわからないとき

【スキャン機能】

仲間の通話しているチャンネルを探したいときに使います。



点滅します



- ① あらかじめ仲間と、グループ機能、中継機能、秘話機能を同じ設定にしておきます。
- ② MONIキーを押しながら、△キーを押します。
- ③ スキャンが始まります。
- ④ 仲間の通話を受信するとそのチャンネルで停止して、チャンネルの番号が点滅します。
- ⑤ 信号が無くなると、2秒後にスキャンは再開されます。また、△キーを押すと、強制的にスキャンを再開できます。
- ⑥ スキャン機能を解除するには、PTTスイッチを押すか、またはMONIキーを押しながら△キーを押してください。

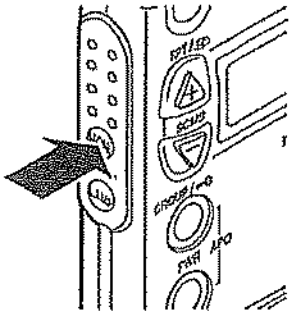
📞 アドバイス

- ◇ スキャン中に電源を切った場合、次に電源を入れると再びスキャンが開始されます。

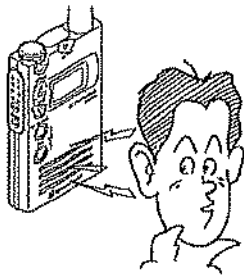
電波が弱くて音が途切れるとき

【モニター機能】

相手の信号が弱くなり、音が途切れるときに使います。



① MONIキーを押します。



② モニター機能が設定され、音が途切れにくくなります。ただし、「ザー」という音が声に入ることがあります。

③ モニター機能を解除するには、もう1度MONIキーを押してください。

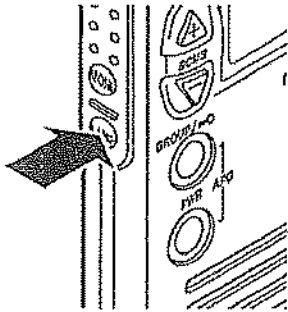
🗣️ アドバイス

- ◇ モニター機能が設定されている間は、相手の信号がなくなると「ザー」という音が聞こえます。通常の状態に戻すには、MONIキーを押してモニター機能を解除してください。
- ◇ モニター機能が設定されている間は、TX/BUSYランプが緑色に点灯します。
- ◇ モニター機能が設定されているときに、LAMPキーを押してランプを点灯させると、その間はTX/BUSYランプが消灯します。

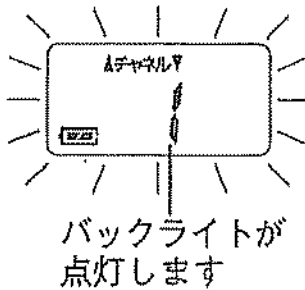
暗いところで操作したいとき

【バックライト機能】

暗い場所で表示部を見たいときに使います。



① LAMPキーを押します。



② バックライトが点灯します。

③ もう1度LAMPキーを押すと、バックライトは消えます。
また、何も操作をしなければ、約5秒後に自動的に消えます。

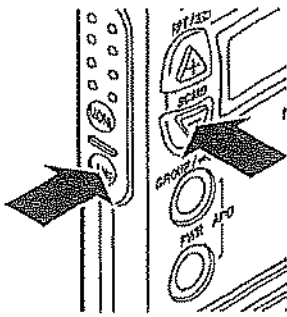
📖 アドバイス

- ◇ 表示部には夜光塗料が使われています。これにより、太陽光や照明を約10分間吸収することで、表示部を約30分光らせることができます。
- ◇ 通話を受信しているときにバックライトを点灯させると、点灯している間だけTX/BUSYランプが消灯します。

通話を他人に聞かれたくないとき

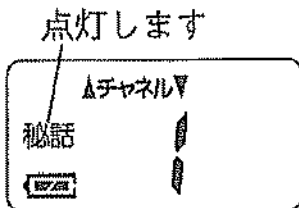
【秘話機能】

通話を他人に聞かれたくないときに使います。



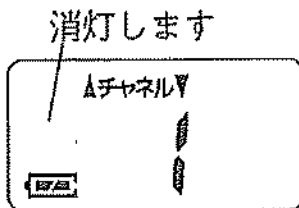
① LAMPキーを押しながら、▽キーを押しま

す。



② 表示部に「秘話」が表示され、秘話機能が設

定されます。



③ 秘話機能を解除するには、もう1度LAMPキーを押しながら▽キーを押してください。表示部から「秘話」が消えます。

■ ご注意

- ◇ 通話相手以外でも、秘話機能を持っているトランシーバーや受信機によって、通話を聞かれる場合があります。重要な通話はお控えください。
- ◇ 本機以外の秘話機能付きトランシーバーとは、通話できない場合があります。この場合は、秘話機能を解除してご使用ください。

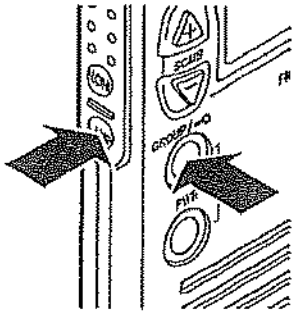
■ アドバイス

- ◇ 通話する相手も秘話機能を設定していないと、通話できません。

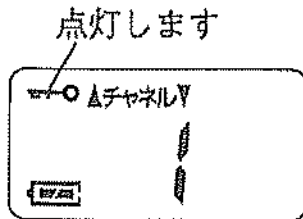
誤操作を防ぎたいとき


【キーロック機能】

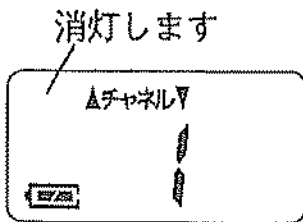
チャンネルやグループ番号を固定したいときに使います。




- ① LAMPキーを押しながら、GROUPキーを押します。



- ② 表示部に「」が表示され、キーロック機能が設定されます。



- ③ キーロック機能を解除するには、もう1度LAMPキーを押しながらGROUPキーを押してください。表示部から「」が消えます。

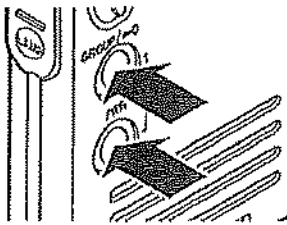
アドバイス

- ◇ キーロック機能を設定しているときは、△/▽キーおよびGROUPキーを押しても「ブブッ」と無効音が鳴り、キー入力を受け付けません。

電源の切り忘れを防ぎたいとき

【オートパワーオフ(APO)機能】

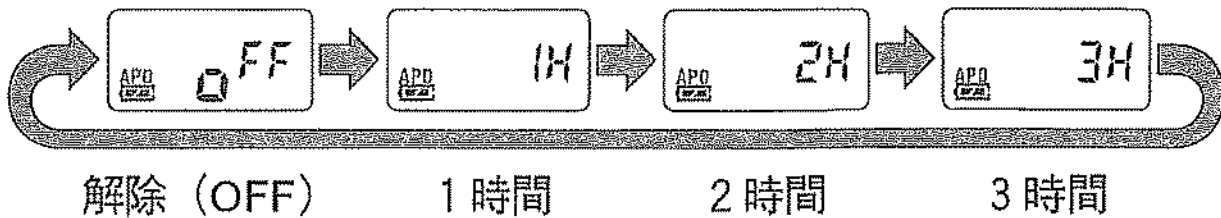
電源の切り忘れを防ぎたいときに使います。



- ① 電源が切れている状態にします。
- ② GROUPキーを押しながら、PWRキーを押します。
- ③ 表示部に「APO」マークと「OFF」が表示されます。



- ④ GROUPキーを押しながら△キーを押すたびに、表示部は図のように変わります。



- ⑤ PWRキーを押して電源を切り、オートパワーオフの時間設定を終了させます。また、5秒間以上何も操作しなければ、自動的に電源が切れます。
- ⑥ オートパワーオフ機能を解除するには、手順①～④を行い、設定時間を「OFF」にします。

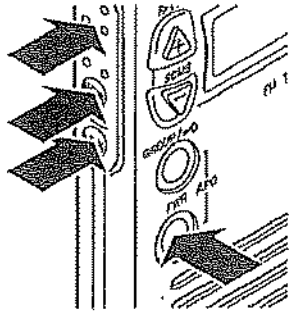
📌 アドバイス

- ◇ オートパワーオフ機能を設定すると、設定した時間以上、キーの操作や送信／受信がなかった場合、自動的に電源を切ります。
- ◇ オートパワーオフ機能が働いて、電源が切れるまでの時間は、1, 2, 3時間の3種類が設定できます。
- ◇ オートパワーオフ機能が設定されていると、表示部に「APO」の表示が出ます。

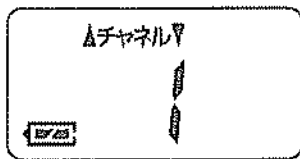
買ったときの状態に戻したいとき

【リセット機能】

間違った設定をしてしまい、操作がわからなくなったときに使います。



- ① PTTスイッチ、MONIキー、LAMPキーの3つを押しながら、PWRキーを押します。



- ② 電源が入り、お買い上げになったときの状態に戻ります。

アドバイス

- ◇ リセットを行うと、チャンネル、グループ番号、その他すべて機能の設定が、お買い上げになったときの状態に戻ります。

ご参考に

故障とお考えになる前に	35
オプションの紹介	36
定 格	37
保証・アフターサービスについて	38

故障とお考えになる前に

症 状	原 因	参照ページ
電源が入らない 「ピピッ」と音がする	電池が消耗している	17
電源が勝手に切れる	オートパワーオフ機能が働いた	32
「ザー」という音が出る	モニター機能が設定されている	28
送信できない	電池が消耗している	17
	他の人が同じチャンネルで通話している	20
PTTスイッチを押すと、 「プーッーッ」音がする	他の人が同じチャンネルで通話している	20
受信できない	電池が消耗している	17
	音量が小さい	18
	チャンネルが合っていない	19
	グループ番号が合っていない	23
	中継機能が設定 (解除) されている	24
秘話機能が設定 (解除) されている	30	
通話が途切れる	相手が離れすぎている	28
キー操作を受け付けない	電池が消耗している キーロック機能が設定されている	17 31

アドバイス

- ◇ 間違った設定をしてしまい、もとの状態に戻せないときには、「買ったときの状態に戻したいとき」(33ページ)を参照し、リセットを行ってみてください。

オプションの紹介

- ◇ CMP111 マイク&スピーカー
- ◇ CMP115 小型マイク&スピーカー
- ◇ CMP113 タイピンマイク
- ◇ CMP123 イヤホンマイク
- ◇ CHP111 PTT付きヘッドセット
- ◇ CHP150 VOX付きヘッドセット
- ◇ CMB600 CHP150用ヘルメットクリップ
- ◇ CNB808 リチャージャブルバッテリー
- ◇ RP808 特定小電力無線中継装置(中継局)
- ◇ RP82U 常設型特定小電力無線中継装置(業務用)
- ◇ RP84U ポータブル型特定小電力無線中継装置(業務用)

定 格

■ 一般仕様

送受信周波数	400MHz帯の単信9チャンネル (1~9ch) (HX808D機能) 単信11チャンネル (01~11ch) 半複信 (中継機能) 9チャンネル (1~9ch) (HX808D機能) 半複信 (中継機能) 18チャンネル (01~18ch)
電波形式	F3E
通信方式	単信および半複信方式
定格電圧	1.2V
発振方式	水晶発振により制御する周波数シンセサイザー方式
周波数の許容差	±4.0ppm以内
アンテナ	一体型フレキシブルヘリカルアンテナ
寸法	幅55mm × 高さ94.5mm × 奥行き15mm (ニッカド電池ケース装着時, アンテナ・突起物含まず)
重量	約110g (ニッカド電池1本含む)

■ 受信部

受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
中間周波数	21.7MHz (1st IF) 450kHz (2nd IF)
受信感度	-7dB μ 以下 (12dB SINAD)
スケルチ感度	-12dB μ 以下
低周波出力	15mW以上 (8 Ω 負荷 10%歪み時)
副次的に発する電波等の限度	4000 μ W以下

■ 送信部

送信出力	10mW以下
占有周波数帯幅	8.5kHz以内
スプリアス発射の強度	2.5 μ W以下
変調方式	可変容量ダイオードによる直接周波数変調方式
最大周波数偏移	±2.5kHz以下
呼出名称符号伝送速度	4800bps (2値FSK方式)

◇ 本機の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証・アフターサービスについて

■保証について

- ◇ この商品には、保証書を添付しています。
保証書は「お買い上げ販売店印・保証期間」をご確認のうえ、お受け取りください。
- ◇ 保証書は、よくお読みのうえ大切に保管してください。
- ◇ 保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
正常なご使用で、この期間内に故障したときは、お買い上げになった販売店または(株)スタンダードの営業所で保証記載事項に基づき「無償修理」いたします。
- ◇ 保証期間経過後の修理は、修理により機能が維持できる場合、お客様のご要望により有償修理いたします。
- ◇ 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等によるアフターサービスについての不明な点は、お買い上げになった販売店または添付の(株)スタンダード各営業所にご遠慮なくご相談ください。

■故障の場合は

- ◇ 「故障とお考えになる前に」をよくお読みのうえ、もう一度故障の状況をお調べください。それでもうまく動かないときには、お買い上げになった販売店または添付の(株)スタンダード各サービスセンター、営業所にご相談ください。

■ご注意

- ◇ この商品は、無線設備規則第49条14に基づき、容易に開けられない構造になっています。そのために⊙形のビスにより組み立てられています。アフターサービスの際は、必ずお買い上げになった販売店または(株)スタンダード各サービスセンター、営業所にご相談ください。

販売元：株式会社スタンダード

〒153-8645 東京都目黒区中目黒4丁目8番8号

製造元：日本マランツ株式会社

〒228-8505 神奈川県相模原市相模大野7丁目35番1号

お問い合わせは、
最寄りの株式会社スタンダード、各営業所、サービスセンターで承っ
ております。付属の全国営業所一覧をご覧ください。

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。